



地元の海の恵みに感謝
おいしくいただきます



1/ 鮭の日給食のサケの南蛮漬けをおいそうに食べる久慈小学校児童 2/ 漁協地元女性部に教わりながらサケに塩をすり込む久喜小学校児童 3/ 大きなサケを一生懸命運びます 4/ 塩をすり込んだサケは名札を付けて寝かせ、数日後に塩抜きをして乾燥させます 5/ 生のサケを使ってオスとメスの違いを学習

14日には久喜小学校6年生16人が「鮭イクラ・新巻作り」を体験。この学習は地元で取れるサケを通じて、漁業に対する理解と関心を高めるもので、久喜漁港荷さばき施設で市漁協や久喜生産部などの協力を得て実施されました。児童たちは、大人の助けを借りながら、初めてサケをさばき、新巻鮭とイクラの塩漬けを完成。「エラをとるのが大変だったけれど、しっかりと新巻鮭ができて良かったです。オスとメスの区別を初めて知りました。イクラもきれいにできました」と誇らしげに感想を述べました。

地産地消ふれあい給食が11月10日、久慈小学校で行われました。11月11日の鮭の日にちなみ、市を代表する水産物のサケを使ったメニューの給食と勉強会をするもので、魚食普及と食育の推進を目的としています。当日は4年生99人がサケについて勉強会を行った後、サケの南蛮漬けが主菜の給食をおいしそうに食べていました。



優勝者 中村ねいろさん、繁名紗依さん、航くん(左から)

思い思いの仮装で変身

10月29日にあまちゃんハウスで「まちなかハロウィン」が開催されました。あいにくの雨模様で、商店街のパレードは中止となりましたが、仮装コンテストは開催。約130人の参加者が思い思いの仮装をお披露目しました。お母さんが手作りした衣装に身を包んだ子どもがステージに上がると、会場からは「かわいい～。似合ってるよ～」などと声が上がりました。優勝したのは、初参加の中村ねいろさん、繁名紗依さん、航くんのグループ。「とても楽しかった。賞金はみんなで分けて、おもちゃを買ってもらいたいです」と喜びを語りました。

手作り衣装で参加

広報クイズ

答えは紙面の中に

問題1 久慈高校演劇部が最優秀賞を受賞した演劇の演目は？

問題2 久慈にU・I・Jターンすることを何と呼ぶ？

▶ 応募方法…はがきに問題の答え・住所・氏名・年齢・電話番号と広報くじの意見や感想などを明記して下記まで

〒028-8030
久慈市川崎町1番1号 地域づくり振興課

▶ 締め切り…12月18日(月)消印有効

▶ 賞品…図書カード500円分(抽選で5人)

▶ 当選発表…賞品の発送をもって代えさせていただきます

○8月1日号の答え
問1 ゾーン30 / 問2 おおよど